



総会・所長研修会を開催しました。

平成25年4月19日（金）、北海道立教育研究所において、平成25年度北海道教育研究所連盟総会及び所長研修会を開催しました。総会では、平成24年度の事業等についての報告及び平成25年度の事業計画、連盟委員の選出、協議事項をはじめ、すべての議案が承認されました。

また、総会に引き続いて行われた所長研修会では、秋田県大館市教育研究所副所長 山本 多鶴子 氏のご講演と、道研連の事業の在り方及び各教育研究所・研修センターの事業の取組状況等について協議を行いました。

所長研修会 講演要旨

演題 「教育研究所・研修センターの
所員・研究員の力量向上に向けて」

講師 秋田県大館市教育研究所副所長 山本 多鶴子 氏

はじめに

- 大館市は、人口7万8千人の地方都市で、鉱山が閉山になった後、資源リサイクル産業、資源循環型産業の発展に力を入れている。子どもたちは、高校を卒業すると進学や就職で大館市を離れ、少子高齢化が進んでいる。

大館市の教育と教育研究所の役割について

- 大館市では「ふるさとに根ざし、自立の気概を培う学校教育の創造」を教育目標として、「ふるさとキャリア教育」を進めている。
- 大館市教育研究所では、推進目標を「学力の向上」におき、20年ほど前から行っているNRT標準学力テストに加え、学力・学習状況調査、秋田県学習状況調査の分析から明確になった課題を具体的な改善策に結びつける取組を推進している。また、生活習慣・学習習慣の定着を「自立プラン」として地域と連携しながら行っている。
- 大館市の教員は、NRT分析委員や教科学習推進委員等の各種委員会に所属し、それぞれの委員会が「学力の向上」に向けて取り組んでいる。
- キャリア教育の推進に向け「子どもハローワーク」を立ち上げ、児童生徒に職場体験の場を提供している。
- スクールカウンセラーや臨床心理士、保育士などのメンバーにより、5歳児検診「ステップ相談」を実施し、発達障害児の早期発見・対応に努めている。
- 中学区ごとに「小中学校共通実践事項」を設けている。授業のスタイルや家庭学習への取り組み方、教室内の掲示などを同一校区の小・中学校で統一し、中1ギャップの解消につながっている。
- 教員の授業力向上に向けて、指導主事や秋田県独自の取組である教育専門官を活用して、日々授業改善を行っている。
- 毎年1月に教職員研究実践発表会を開催し、授業での工夫などの実践がたくさん発表される。
- 大館市の公立小中学校の管理職は、毎日、全教員の授業を見にクラスへ行く。教員が管理職に授業のアドバイスをもらったり、授業に関する相談をしたりする雰囲気職員室内にできている。



秋田県大館市教育研究所副所長 山本 多鶴子 様

おわりに

- 大館市の先生方の合い言葉は、「子どもと教職員の力を1割アップしよう」である。
- 大館市に視察に来ていただきたい。子どもたちの学ぶ姿を、是非見に来ていただきたい。



所長研修会 主な協議内容

- 管内の教員の資質・能力の向上に寄与するため、教育研究所・研修センターにおいては、教員のニーズに合った、質の高い研修講座を開講している。
- 所員・研究員の力量を高めるため、所内・外での研修の充実に取り組んでいる。

平成25年度北海道教育研究所連盟の事業計画

- 1 総会・所長研修会 平成25年4月19日（金）
北海道立教育研究所
 - 2 夏季所員研修会 平成25年7月30日（火）・31日（水）
北海道立教育研究所
 - 3 研究発表大会（釧路大会） 平成25年9月5日（木）・6日（金）
釧路生涯学習センター
 - 4 委員会 平成25年2月7日（金）
北海道立教育研究所
 - 5 共同研究推進委員会
- | | | | |
|-----|----------|-----|-----------|
| 第1回 | 5月10日（金） | 第5回 | 10月2日（木） |
| 第2回 | 6月26日（火） | 第6回 | 12月6日（金） |
| 第3回 | 7月30日（火） | 第7回 | 1月10日（金） |
| 第4回 | 9月5日（木） | | 北海道立教育研究所 |